

日本グランプリシリーズ プレミア 東京大会「TOKYO Combined Events Meet 2019」

ドーハ 2019 世界選手権チャレンジミーティング

兼 第 82 回東京陸上競技選手権大会(混成競技)



競技注意事項

1 . 競技規則について

本競技会は、2019年日本陸上競技連盟競技規則、本競技会の競技注意事項(本注意事項)および本競技会の申し合わせ事項により実施する。

なお、日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」も併せて適用する。

(参照:「要項13. その他(1)」)

2 . 受付について

- (1) 本競技会でのナンバーカードや大会プログラムの配布等の競技者受付は以下の通り実施する。

受付可能日	受付可能時間	受付場所
4月19日(金)(前日)	13:30 ~ 16:30	Bゲート
4月20日(土)(1日目)	7:30 ~ 16:00	競技者インフォメーション (TIC)
4月21日(日)(2日目)	7:30 ~ 13:30	

- (2) 大会プログラムに記載の氏名や所属団体名に記載ミスがあった場合には、各日 8:30 までもしくは当該種目の競技開始 2 時間前までに競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。競技結果確定後の訂正(賞状や記録証明書の訂正を含む。)には一切応じない。なお、大会プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

3 . 練習について

- (1) 会場設備の関係から、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場内で原則として以下に定める時間の範囲内で練習を行うことができる。

練習可能日	練習可能時間
4月19日(金)(前日)	13:30 ~ 16:30 (ただし棒高跳、円盤投およびやり投の練習は不可)
4月20日(土)(1日目)	7:30 ~ 9:30
4月21日(日)(2日目)	7:30 ~ 9:20

- (2) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所、指定された時間の範囲内で事故防止に万全を期し行うこと。ただし、競技運営の関係上、練習を一部制限することがある。

- (3) 競技会当日のトラックを用いた練習は以下のとおりとする。

種目	練習可能時間	練習可能場所
日本 GP - 男子十種 100m	1日目 7:45 ~ 9:30	ホーム 3 ~ 5 レーン
中学 - 男子四種 110mH	1日目 7:45 ~ 9:40	バック 7 ~ 8 レーン
日本 GP - 女子七種 100mH	1日目 7:45 ~ 9:40	ホーム 6 ~ 8 レーン
	1日目 9:40 ~ 10:10	バック 7 ~ 8 レーン

種 目	練習可能時間	練習可能場所
中学 - 女子四種 100mH	1 日目 7:45 ~ 10:30	バック 5 ~ 6 レーン
日本 GP - 女子七種 200m	1 日目 16:25 ~ 16:35	第 3 コーナー 各レーン
日本 GP - 男子十種 400m	1 日目 16:50 ~ 17:10	第 1 コーナー 各レーン
日本 GP - 男子十種 110mH	2 日目 7:45 ~ 9:20	ホーム 7 ~ 8 レーン
中学 - 女子四種 200m	1 日目 14:05 ~ 14:55	第 3 コーナー 各レーン

※ 1 ~ 2 レーンは周回走行が可能な練習場設定とする。

※ 同時開催の東京都春季陸上競技会の出場競技者向けにもバックストレートを一部開放している。

※ 上記の内容は、競技会当日の状況により変更される場合がある。その場合は、担当の競技役員の指示に従うこと。

- (4) 各日とも、周回レースが行われていない時間帯はバックストレートを練習場として開放する。
- (5) 高さを競う跳躍種目の練習では、高さ毎に設定された時間内であれば回数によって制限されることはない。
- (6) 走高跳の練習では正規のバーを使用し、その高さは時間により複数設定する。
- (7) 棒高跳の練習ではゴム製バーを使用し、その高さは時間により複数設定する。
- (8) 投てき種目の練習は、競技開始前に競技実施場所にて行うことができる。
- (9) サークルを用いた練習は、1分以内とする。

4 . 招集について

- (1) 招集時間は競技日程に記載の時間による。
- (2) 招集所は A ゲート (第 4 コーナー(100m のスタート地点)) 付近の競技場内に設置する。
- (3) 日本 GP 種目男子十種競技および女子七種競技の招集は、1 日目および 2 日目の最初の種目のみ招集所にて行う。以後の種目の招集は混成競技係の指示に従い、各競技場所にて実施する。
- (4) 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 招集の際に、ナンバーカードや広告規程に関する確認も併せて行う。なお、競技規則第 144 条 3 により競技区域内での所持や使用を制限されている機器や装置を持ち込むことはできない。

5 . ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、主催者が競技者に対して 3 枚配布する。
- (2) ナンバーカードは、配布されたままの大きさで胸と背につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸または背のいずれかにつけるだけでも良い。なお、氏名のついたナンバーカードを胸側につけること。
- (3) トラック種目に出場する競技者には、腰ナンバー標識を 2 枚貸与し、競技終了後都度回収する。
- (4) 日本 GP 種目男子十種競技および女子七種競技の最終種目においては、それまでの得点による順位順の特別ナンバーカードを配布する。

6 . 用具について

- (1) 競技用器具の使用は主催者が用意したものに限る。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。また「やり」は、主催者が用意した投てき用具としてリストに記載されておらず、公式計測員の検査を受けて合格したものに限り個人所有のものが使用できる。なお、その場合は主催者で借り上げることとし、競技者全員が使用できるものとする。(参照:「要項 1 3. その他 (4)」)
- (2) 事前送付された棒高跳用ポールについては、B ゲート側用器具庫に保管されている。返送を希望している

競技者(事前申込者)は、競技終了後ポールを返却する際に B ゲート競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。

- (3) 「やり」以外の「投てき物」の持ち込みは、会場設備の関係から認められない。「やり」の持ち込みを希望する競技者は、以下に定める時間内に B ゲート倉庫付近に開設する B ゲート競技者インフォメーション(TIC)に提出すること。その際、「投てき用具検査申請書」に必要事項を記入の上、発行される「預かり証」を受け取ること。競技終了後、B ゲート競技者インフォメーション(TIC)にて返却する。
- (4) B ゲート競技者インフォメーション(TIC)の開設時間は以下のとおりとする。

対応種目	前項(3)に定める時間	返却等に関する時間
日本 GP - 男子十種棒高跳	—	2 日目 14:00 ~ 18:30
日本 GP - 女子七種やり投	2 日目 7:30 ~ 11:35	2 日目 14:40 ~ 18:30
日本 GP - 男子十種やり投	2 日目 7:30 ~ 12:30	2 日目 17:00 ~ 18:30

7 . 競技について

- (1) トラック種目の計時は、すべて電気計時(0.01 秒)を用いて行う。
- (2) 高さを競う跳躍種目のバーの上げ方については競技規則第 200 条 8 [国際] を適用し、最初のバーの高さは以下のとおりとする。なお、練習のバーの高さは競技場所にて複数設定する。

種 目	最初のバーの高さ	バーの上げ方
日本 GP - 男子十種走高跳	1 m 77	+ 3 cm
日本 GP - 男子十種棒高跳	3 m 60	+ 10 cm
日本 GP - 女子七種走高跳	1 m 36	+ 3 cm
中学 - 男子四種走高跳	1 m 30	+ 3 cm
中学 - 女子四種走高跳	1 m 10	+ 3 cm

- (3) 高さを競う跳躍種目は原則として競技者により申告された最初に跳ぶ高さをもとに組み分けされ、2 ピットで行う。
- (4) 長さを競う跳躍種目は、原則として2 ピットで実施する。
- (5) 競技規則第 125 条 5 あるいは、第 162 条 5 の適用により警告を 2 回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

8 . 抗議と上訴について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンで正式発表されてから、競技規則に定められた時間内にその競技者または代理人が競技者インフォメーション(TIC)に申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1 万円)を添え、担当総務員を通して Jury に文書で申し出ること。

(参照：「競技規則第 146 条」)

9 . ドーピング検査の実施について

- (1) ドーピングコントロールについて

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。なお、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿または血液(あるいは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に

従うこと。なお、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE 申請について

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org>)を確認すること。

(3) 18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、および日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

①本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロードできる。

②18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(日本陸上競技連盟医事代表)に提出すること。提出は1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸上競技連盟事務局に原本を提出すること。

(参照:「要項12. ドーピングコントロール」)

10. 表彰について

(1) 日本GP種目

第1位から第3位までに入賞した競技者に、賞状を授与する。

(2) 東京選手権種目

①優勝した競技者に、選手権章および賞状を授与する。

②第2位から第3位までに入賞した競技者に、メダルおよび賞状を授与する。

③第4位から第8位までに入賞した競技者に、賞状を授与する。

(3) 普及強化種目

第1位から第3位までに入賞した競技者に、賞状を授与する。

(参照:「要項11. 表彰」)

11. その他

(1) 競技中に発生した傷害および疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。

(2) 更衣室は男子:1A、女子:1Bとする。盗難などの防止のため、更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かず各自が責任持って管理すること。

(4) 出場チーム関係者の混成競技控室への入室については、IDコントロールにより制限される。

(5) 競技終了後は担当の競技役員の指示に従い、Bゲート付近に設置予定のミックスゾーンを必ず通り退場すること。

(6) 記録証は1部300円にて発行する。発行を希望する場合は、競技者インフォメーション(TIC)まで申し出ること。

(7) トレーナーステーションを競技場1階中央付近に開設する。

以上